

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表：2022年 3 月 4 日

事業所名 Rosetta柴原

保護者等数(児童数) 25

回収数 19

割合 76 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	8	1	少し狭いですが、とても工夫していると感じます	限られたスペースを有効利用していきたい
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	2	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	3	0	詳しく確認していなかった	入口に段差があるので、安全に配慮していることを周知していく
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	1	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	2	0		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	13	4		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	4	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	6	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	11	7	必要ない	今後検討していきたい
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	3	0	苦情ありますか？	苦情には迅速に対応していく
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	2	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	1	0		
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	19	0	0		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	3	0		情報を発信していきます
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	3	0	訓練しているか知らない	情報を発信していきます
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1	0		
	18	事業所の支援に満足しているか	18	1	0		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年 3月 14日

事業所名 Rosetta柴原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	倉庫を借りている。	スペースを工夫しながら使用したり、物の置き場所を作るため隣の倉庫を借り、スペースの確保に当たっている
	2	職員の配置数は適切である	4	1		1対1を基本に職員を配置しているが、送迎時など職員が少なることもある。しかし、最小限の方法で送迎を組めるよう考えている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1		玄関の入り口には数センチの段差があるが、衝撃を緩和するためスタッフ2人での介助にしたりと工夫している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0		毎月一回のミーティングで各種業務について上がった課題等を議論を実施している。参加できなかったスタッフには議事録を渡し、共有している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		年に一回アンケートを実施している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		公表しているので引き続き継続
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		現在行っていないが、第三者評価の方法や評価機関について社会福祉協議会に相談し検討していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	来年度よりウェブ研修を試験的に導入予定	月に一回の施設内研修を各業種毎に行うことに加え、外部研修の情報提供と参加促進を行っている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		個別のアセスメント会議を開催し、スタッフ間で情報の共有、提供を行いモニタリングを作成。その後に計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		対象が重症児であるため、適応行動等の評価が可能なアセスメントツールが見つからな
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0		外出プログラム、月々の療育計画(集団、個別共に)をミーティングで立案、決定、そして計画、実施できているので継続していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0		固定化しないよう担当スタッフ中心に様々な意見を出し合い、検討している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0		個々に応じて長期休暇では入浴なども対応している。 平日は支援時間が短くなるので、短時間でも実施可能なプログラムを工夫している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		個々の利用者の性格や障害特性に合わせたプランの立案をミーティングで実施している。 日々の状況に応じて柔軟に対応できている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		職員間のLINEや直接の連絡調整などで確認、共有している。 空いている時間でその都度スタッフで当日の役割分担、利用者のケアの流れの確認、送迎の確認、計画の読み上げなどを実施している。また朝の会、昼の会でも全体の確認
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		支援終了後の連絡に関しては職員間のLINEでの情報共有のほか、管理者中心に話をしている。今後も継続していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0		実施できているので継続する
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0		特に必要がなければ6か月ごとのモニタリングと計画の見直しを実施できている。必要に応じて適宜計画の見直しをしていく

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8	0	創作活動や余暇の提供を軸に、学校で行われている活動や訓練施設でのリハビリなどの内容を取り入れながら支援を実施している。気候のいい日には近くの公園など散歩へ行ったり、外出の支援も行っている
--	----	---------------------------------	---	---	---

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	コロナの影響でサービス担当者会議は開催されていないが、相談員とは情報共有し、専門スタッフが対応している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	送迎時に担任との情報共有を実施するほか、学校職員、またご家族からの情報提供により、行事予定などについては適宜情報をいただいている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	0	医療的ケアの実施に際して必要な指示書及び嘱託医への診療情報提供書をいただいている。また電話等で主治医からの情報収集をするなど連絡体制は取れている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	今年度はそのケースは見られなかったため、実施できていない。今後その時の状況に応じて、情報共有と相互理解をしていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	0	今年度は移行される利用者はいませんでした
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	医療型児童発達支援センター等で実施される研修には可能な限り参加している。欠席の時も施設内での資料の掲示などを実施し
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	現在実施できていない。長期休暇を利用して地域のイベントの参加や他施設へ遊びに行くなど機会を設けたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	0	今年より参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	連絡ノート(支援記録)やLINE、送迎時等で日ごろの状況を伝え合い、また通院時やリハビリ時の状況について情報もいただいている。今後も継続していく
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	3	必要に応じて、他事業所や相談支援員等とも連携を取りながら取り組んでいる
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	運営規定の変更に伴う利用者負担の変更がある場合などは、状況に応じて説明を行っている 運営規定の内容に関して、重要事項説明書
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	送迎時の会話やLINE、ノート記載などで相談に応じ、助言や支援を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	今年度は実施できていない。ご家族の皆さんお忙しいのでなかなか実現するのは難しいと思われる
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	苦情があった場合、管理者や代表に報告し、スタッフとも情報を共有し迅速に対応できている。また苦情報告書にも記載し再発防止に努めている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	ホームページやSNSでは実施している。また個人メールやLINEに活動の写真を送ったり、発信を心掛けている
	35	個人情報に十分注意している	8	0	送迎時の個人情報の受け渡しの対応や、カルテの鍵付き書庫への保管など個人情報の管理には気をつけている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	利用者に応じたコミュニケーションの取り方を心掛けている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	スペースの関係で地域の方を招くことができないため、こちらから地域の施設やイベントに出ていけるようにしていく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	各マニュアルに関してはスタッフに対して年に1回の研修を実施しており、周知ができていますので引き続き継続。 緊急時、災害発生時には契約時に保護者用の対応マニュアルを配布。感染症発生時は、発生状態や疾患の種類により適宜対応を連絡している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	年に2回実施できている。火災発生時と地震発生時に分けてそれぞれ実施するとともに、避難場所の確認、緊急時に持ち出す物品等もその時に確認している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	年に1回虐待防止の研修を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載して	8	0	身体拘束については安全の為にを行うベルト固定など支援計画に記載し、保護者にも説明出来ている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	医師の指示書に基づく対応を行っている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	事業所内にヒヤリハットの記録を設置し、いつでも見られるようにしている。また施設ミーティングで1ヵ月内にあったヒヤリハットを報告し、全員で振り返りを行っている

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。